

中国国際航空 北京—ムンバイ直行便 新規就航

中国国際航空(CA:エアチャイナ 本社:北京)は、10月25日から北京—ムンバイ 直行便を新規就航します。香港やシンガポール、バンコクなどを経由せずに、容易にインドへ行くことが出来るようになります。

中国とインドは、「BRICs」(有力新興国とされるブラジル(Brazil)、ロシア(Russia)、インド(India)、中国(China)の頭文字をとった言葉)の2国として、政治・経済で密接な関係にあり、近年は特に貿易が盛んで、中国とインドは、2014年9月に両国間の経済関係に関する共同声明を発表し、文化交流計画をスタートしました。その文化交流計画に基づき、2015年は中国で‘インド観光年’を、2016年はインドで‘中国観光年’を実施するなど、中国とインドのモノと人の行き来はさらに増大すると思われまます。

ムンバイは、インド西部の交通の要衝であり、経済と文化の中心地です。このたび新たに就航する北京—ムンバイ直行便により、中国—インド間の運航便数は毎週8便となり、インドのその他の都市へのアクセスも飛躍的に向上し、中国とインドの関係をさらに密接にし、交流を促進します。

《2015年10月25日～運行予定スケジュール》

◆ 北京—ムンバイ

便名	路線	機材	出発	到着	運航日
CA889	北京—ムンバイ	A330-300	19:40	1:00(翌日)	火・木・土・日
CA890	ムンバイ—北京	A330-300	2:30	11:20	月・水・金・日

◆ 他インド線 北京—デリー

便名	路線	機材	出発	到着	運航日
CA947	北京—デリー	A330-300	20:40	1:35(翌日)	月・水・金・土
CA948	デリー—北京	A330-300	2:50	11:25	火・木・土・日

※各国政府認可条件 ※時間はすべて現地時間 ※2015年8月現在

中国国際航空(CA:エアチャイナ)とは

中華人民共和国のナショナルフラッグキャリアで、1949年に設立された航空会社(当時社名は中国民航、のち分社化)。保有機材は、ボーイング機・エアバス機合わせて300機以上を保有し、日本、そして世界各地と中国を結んでいます。1974年9月に東京・大阪に就航。現在では、東京(成田・羽田)、大阪、札幌、仙台、広島、名古屋、福岡、沖縄、函館の9都市と中国を結ぶ路線を運航しています。スターアライアンスメンバー。

ホームページ: 日本 www.airchina.jp 本社 www.airchina.com (中国語・英語)

＜本件に関する報道関係お問い合わせ先＞

中国国際航空 広報代理 株式会社プラップ ジャパン 佐藤・米津(ヨネツ)
 E-mail: capr@mi.prap.co.jp TEL: 03-4580-9107 FAX: 03-4580-9133